

室蘭地方気象台からのお知らせ 大雨に備えて「キキクル」の活用

室蘭地方気象台 防災指導係長 佐々木 智規

夏から秋にかけては、大雨によって河川の氾濫や土砂災害が発生しやすく、人々の生命が脅かされるような自然災害がたびたび発生します。

気象庁では、土砂災害、浸水害、洪水災害発生危険度の高まりの予測を地図上で示す「キキクル（危険度分布）」（下図）を常時10分ごとに更新しています。「キキクル（危険度分布）」は、取るべき避難行動が直感的に分かるように、警戒レベル1から5に合わせて5段階に色分けして表示しています。雨が強まってきたときや大雨警報、洪水警報が発表されているときは、どこでどのような災害の危険度が高まっているのか、スマートフォンから気象庁ホームページにアクセスするとリアルタイムに確認できますので、いざというときの避難や防災行動の判断にぜひご活用ください。

普段の備えと警報、注意報や「キキクル」などの気象情報を参考にして、気象災害から身を守りましょう。



気象庁ホームページ「あなたの街の防災情報」▶



はじまります！ 国勢調査



インターネット回答でかんたん便利に！



国勢調査2025

調査期日

2025年
10月1日